

令和6年シラス曳網調査結果 (第2報)

令和6年6月17日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

6月13日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-05E(水深 28m)、141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

18.0°C~18.7°C

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 223~2,424 尾 (合計 4,699 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(5月23日沖側3定点、48~2,512尾、合計2,661尾)と比較し、増加しました。

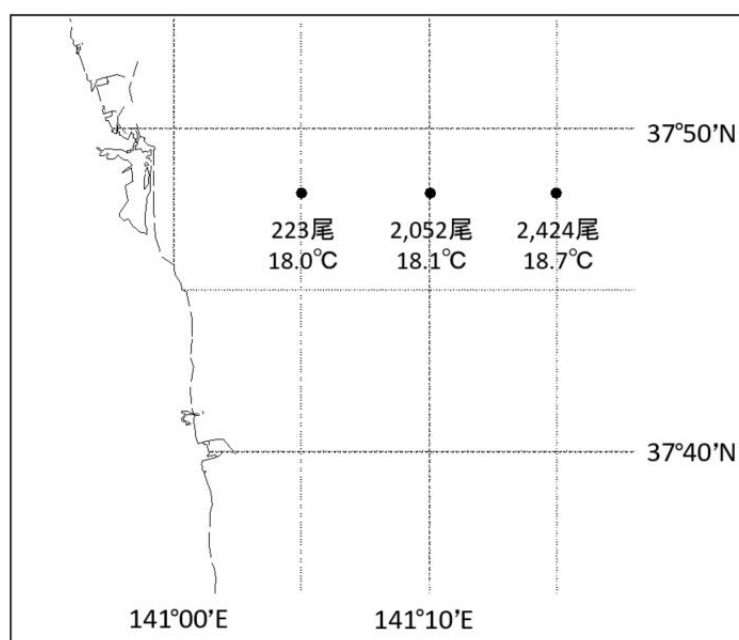


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：4.6～39.0mm

全長 15mm 前後の群、35mm 前後の群の2つの群で構成されていました。

141-05E では 15mm 前後、35mm 前後の2つの群、141-10E では 15mm 前後の群、141-15E では 10mm 前後の群のシラスが採集されました。

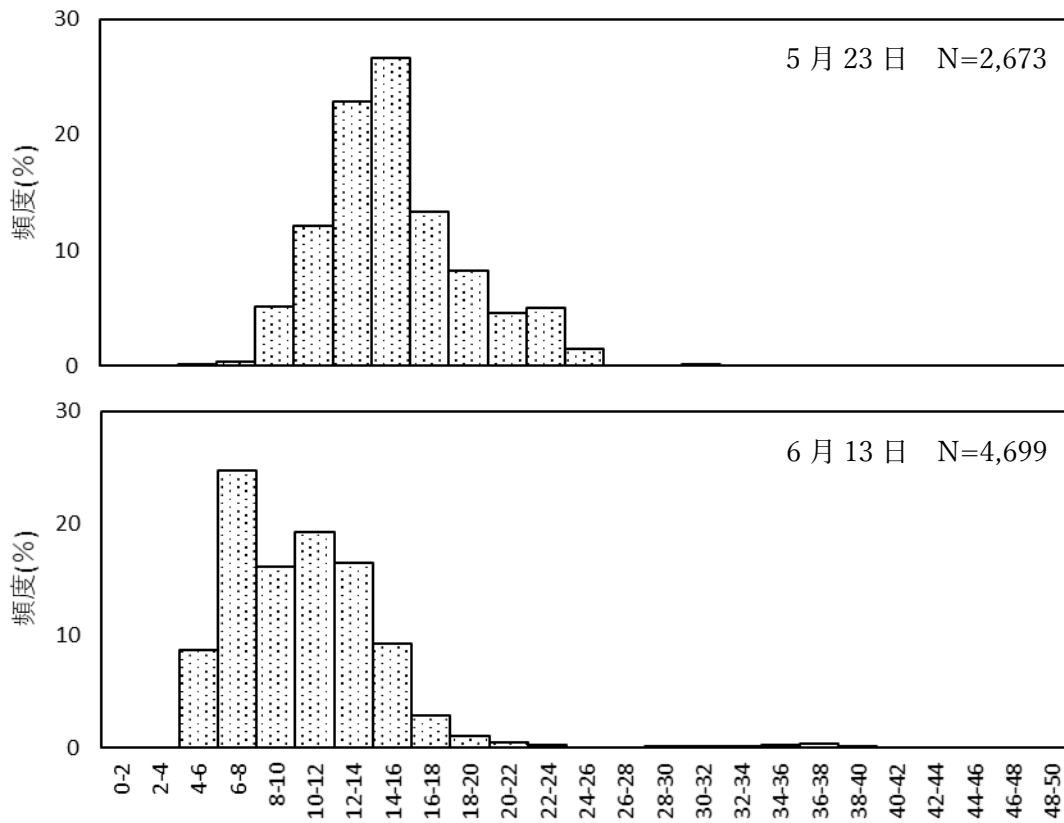


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和6年6月のシラス採捕数は平成18年以降で2番目に多い結果となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

今年度はいわき地区では6月3日より、相双地区では6月10日よりシラス漁が開始されました。

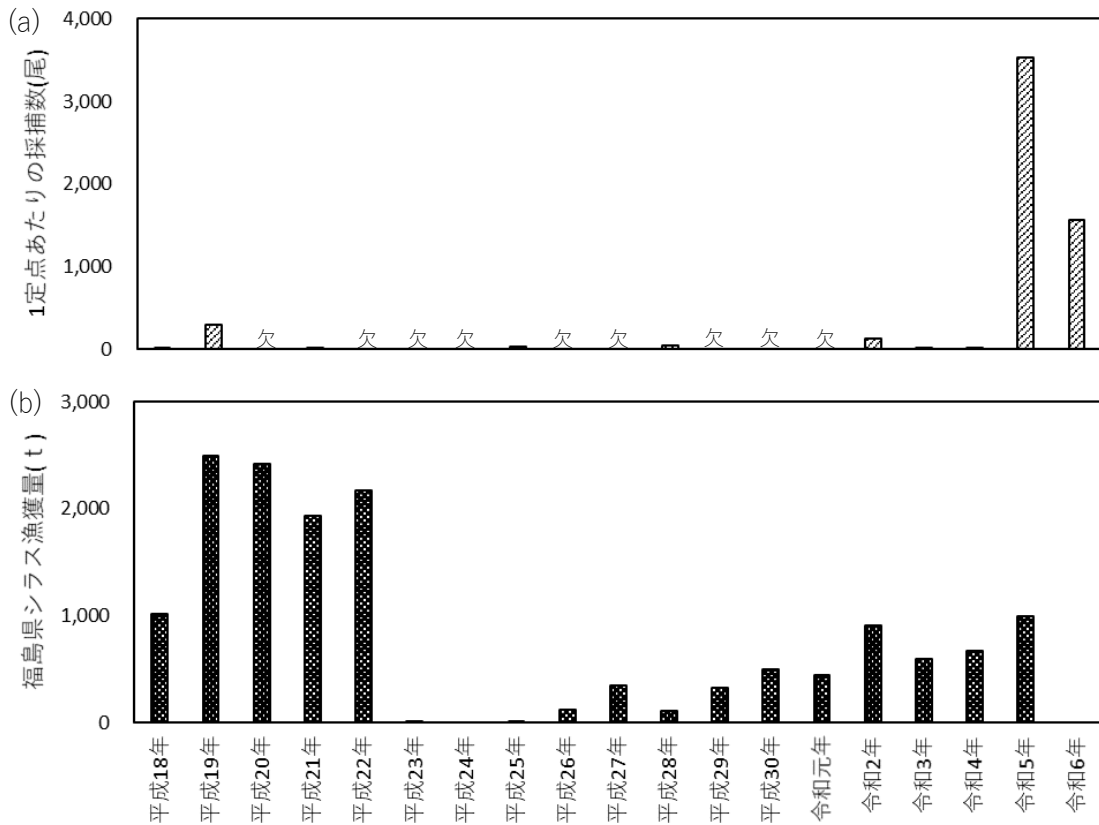


図3 (a)相馬海域における6月の1地点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量